

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100367
事業所名	グループホーム野のユリ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し、回覧板で情報を得て小学校での運動会に参加し、地域住民に温かく迎えられている。散歩時に近所の方から野菜を頂いたり、神社の祭りで子どもたちが法被姿で神輿を引くのを見て季節感を味わったり、陶芸、書道、民謡、ギターコンサート、ピラティス等のボランティアの訪問もある。陶芸や書道作品は毎年市の福祉まつりに出品、展示している。中学生の福祉体験学習の受け入れも行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 会議は元民生委員、家族代表、市担当者、職員の参加のもと、2カ月に1回、入退状況、近況、外部評価等の報告と自由な意見交換の場を設けている。3月の震災を受け防災対策を議題にし、市からの資料提供でホームの避難場所の確認、地域資源の活用法、非常災害時の対応等のアドバイスが得られた。また、地域の防災訓練に参加することで、地域との協力体制作りの一歩を踏み出すことができた。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市介護保険課へ報告、手続き、書類等何かあれば足を運んでいる。連絡、相談から入居に結びついた事例もあり、協働関係が構築されている。市の担当者が出席するグループホーム部会や福祉事業者連絡会に参加し、情報交換に努めている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 誓約書に最低月1回の訪問が明記されており、利用料支払いを兼ねての家族の面会時に意見や要望を聞いている。年1回、12月のクリスマス会時に家族会を併催し、食事やイベントを楽しみ、交流が図られている。この1年間ホーム便りは作成されていない。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○			

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。